

和 県士会活動報告

令和7年11月～令和8年3月

担当部・委員会：地域支援事業推進委員会

日程：2025/11/12

11月12日（水）に地域ケア会議導入研修「地域ケア会議に参加してみませんか」を開催しました。講師は児玉憲三氏と小倉由嵯氏です。最初に児玉氏より地域支援事業の概要と地域ケア会議についての講義があり、その後小倉氏より模擬事例を使つての事例検討がありました。参加者は17名で、3グループに分かれて事例検討が行われました。時間も短い中、体験的な事例検討でしたが、地域ケア会議のイメージをつかむことのできる研修になったと思います。現状では県内で地域支援事業の入り口は地域ケア会議なので、今後も地域ケア会議での助言能力の向上と人材の発掘のため本研修を継続したいと考えています。

担当部・委員会：地域支援事業推進委員会

日程：2025/12/13

今年度の事例検討会は初めて県内の地域ケア会議に実際に取り上げられた事例を使用して事例検討を行いました。地域ケア会議で何を焦点に議論するべきかということも検討しながら事例検討を行いました。入口（アセスメント）を議論するべき事例、サービスの中身を議論するべき事例、出口（サービス終了後の方向）を議論するべき事例に分けて事例検討を行いました。地域ケア会議で適切な助言をすることは難しいことを痛感しましたが、地域ケア会議の中でどのように議論を深めるべきかも明確になる研修でした。こうした事例検討の積み重ねが助言の質を高めることにつながると手ごたえもつかむことができました。今後も事例検討は人材育成の柱として継続していく方針です。



担当部・委員会：普及啓発委員会

日程：2025/11/15

田辺市の紀南文化会館で行われました。作業療法ブースでは、非利き手での箸操作を行い豆つまみをしてもらった後、自助具の箸を使用することにより、豆がつまむやすくなるという体験を行なってもらいます。作業療法士の仕事の説明を行い、体験して頂いた大人の方には、何かあれば作業療法士を活用してもらいたいこと、子供さんには、大人になったら作業療法士になるのはどうか？という話をしたりします。例年、理学療法士協会、言語聴覚士会と合同で、スタンプラリーを活用してリハビリの啓発も行なっています。



担当部・委員会：認知症支援委員会

日程：2026/01/17

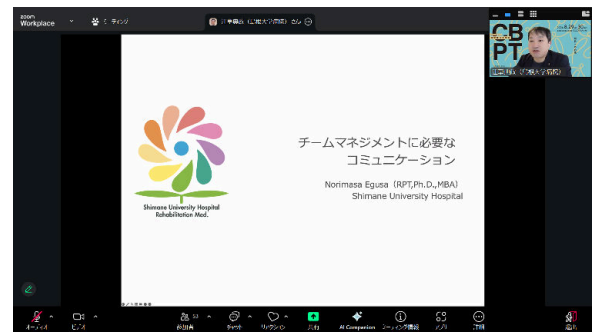
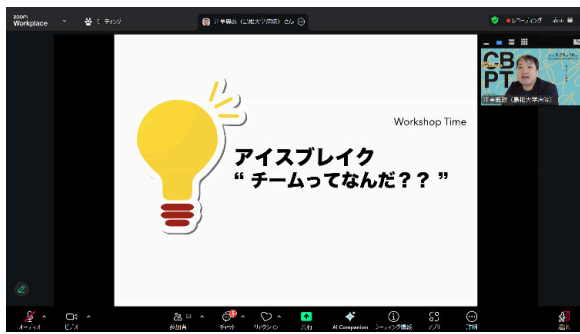
今年度より、白浜町にて認知症地域活動を開始しました。その名も「認知症をまなびつなげるまちづくりの会（以下、まちづくり会）」です。10月・12月・1月に白浜町堅田地区の自治会館で開催し、講義、創作活動、相談会を行いました。3回の開催で、延べ23名の地域の皆様にご参加いただきました。全てのプログラムに作業療法士がかかわり、地域の皆様とともにまなび交流する時間となりました。■講義 第1回 認知症の理解と認知症の人へのかかわり方 第2回 災害時の認知症の人への支援・かかわり 第3回 認知症予防 西本委員、見形委員が講師を務め、日常生活にいかせる内容をわかりやすくお伝えしました。■創作活動 第1回 エコクラフトのコースター 第2回 迎春フォトフレーム 第3回 ロバ隊長のキーホルダー作り」手先を使う作業は、認知機能への良い刺激となるだけでなく、作品を完成させる達成感や、参加者同士の自然な交流にもつながっています。■相談会 ご近所の認知症の方のかかわりについての質問があり、作業療法士よりお答えさせていただきました。参加者の皆様からは、「今度はもっと勉強してこなあかなあ」「次も楽しみにしている」と温かいお声をいただきました。この活動が、地域の皆様が認知症を身近に学び、安心してつなげるまちづくりのきっかけになっていれば嬉しく思います。今年度の開催は終了しましたが、来年度も継続して開催する予定です。白浜町でご活躍されている作業療法士の皆さまにも、ぜひご参加いただければ幸いです。



担当部・委員会：リーダー育成推進委員会

日程：2026/02/07

令和8年2月7日にOTトップリーダー研修会をオンラインで開催しました。島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 療法士長の江草典政先生を講師に迎え、「チームマネジメントに必要なコミュニケーション」をテーマにご講演いただきました。講演は参加者から好評を得ており、講演内容を踏まえた後半のグループワークでは、各施設の課題について意見交換を行いました。



担当部・委員会：こども支援委員会

日程：2026/03/01

講師に「堺市立重症心身障害者（児）支援センター ベルデさかい」の松本茂樹氏をお招きし、研修会を開催しました。和歌山の発達OTの多くは重症心身障害児者の施設に関わっています。昨今、いわゆる発達障害児に関わることが多くなっている地域事情の中、作業療法の原点に立ち返って考える機会をいただきました。講義では重症心身障害児者の感覚世界から一人ひとりを見つめる視点、その人を取り巻く人との関わりの尊さなどの話がありました。また、作業療法士が人として、専門職としての価値観を大切するといった話をされ、講義の後はとても心地よく、勇気をもらうことができる講義でした。

